

糸魚川

独自の住宅認定制度開始

省エネ住宅の普及目指す

糸魚川商工会議所 未来創造会議 (Midori Mirai Meeting Itogawa 3M) (新潟県) や森林資源 に関わる市内の企業に よる組織「縁でつなぐ



高瀬吉洋会頭（前列左から4人目）と米田徹市長（同5人目）

は、このほ どの、市内に 建築する住 宅における 3M独自の 認定制度 「ISSH (Itogi Susta gawa in Stable Standard House、イッシュ)」の運 用を開始し

た。 同制度は、同所が官 民で取り組む「糸魚川 産業創造プラットフォーム事業」の一環で、 豊かな地元木材の利活 用による地域経済循環 の実現、エネルギー排 出の抑制を目的とした もの。具体的には、一 定以上の糸魚川産木材 の使用や「許容心力度 計算」による構造計算 の実施、隙間相当面積、 断熱性能を決めるUa 値（外皮平均熱貫流 率）など、地元材の利 用率と住宅性能基準を 組み合わせた独自の基 準を設け、それを満た している新築住宅を認 定する。ISSHの申 請は、同事業の趣旨に 賛同し加盟登録した市 内の建築事業者が行え る。

また、市でもこのほ ど省エネ住宅を奨励す る住宅認定制度を創 設。国や県の基準にI SSHの基準も加え、 基準を満たした新築住 宅を「市省エネ住宅」 として認定、補助する 支援をスタートした。 7月5日に3Mと市は 事業協定を締結。共に 地元産業の発展と、環 境に優しく快適な省エ ネ住宅の普及を目指 す。